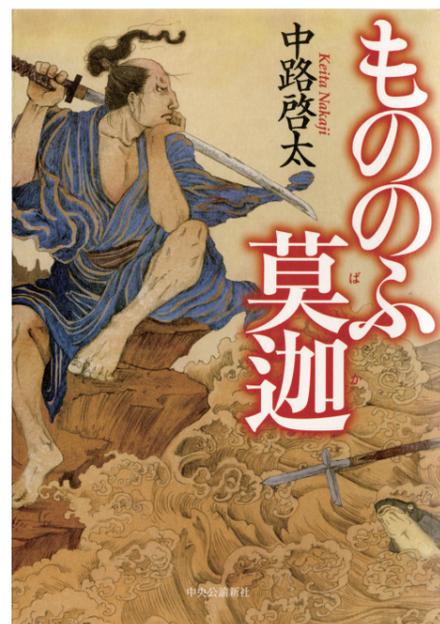


「遠藤拓人の仕事展 ～装画と挿絵～」

デザイン学科 遠藤拓人 Takuto Endo



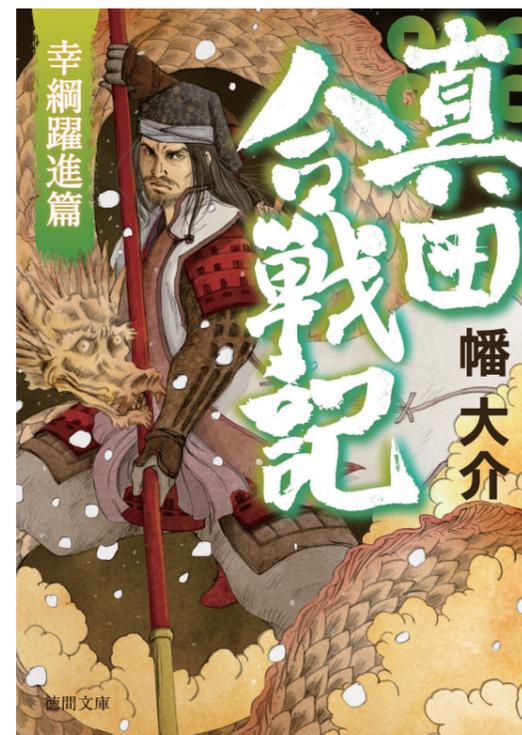
本学の大学院を卒業したのが2005年。卒業と同時にフリーランスになった。目の前の仕事に向かい、ただがむしゃらに描いてきた。気がつけば仕事の大半は書籍である。自分は本が好きだし、本を信用しているし、本にずっと助けられてきたと思っている。本展では歴史小説の装画と、2014年から1年間掲載された新聞連載小説の挿絵を中心に並べた。装画でしか描けない絵、挿絵でしか描けない絵、挿絵でも新聞連載でしか描けない絵というのがあるように思う。これらは卒業から現在に至るまでの足跡の一部である。



『ものふ莫迦（中路啓太）』書籍装画 cl. 中央公論新社 2014



1979年東京都生まれ。イラストレーター。東京工芸大学大学院修了、セツ・モードセミナー修了。04年ギャラリーハウスMAYA「装画コンペ」MAYA賞、05年グラフィックアート「ひとつぼ展」入選、CWC「チャンス展」ファイナリスト、他少々。個展・グループ展多数。書籍の装画、新聞連載小説や文芸誌連載小説の挿絵を中心に、装丁、カバーフォトなどでも活動。東京大学東洋文化研究所協力研究者、歴史文化工学会理事、東京工芸大学助教。http://www.artakuto.com



『真田合戦記』書籍装丁／装画 cl. 徳間書店 2016



『霸道の槍』書籍装丁／装画 cl. 角川春樹事務所 2016



新聞連載小説『亀は動かさず(上田秀人)』挿絵 cl. 講談社 2014～2015